

世界株式トレンドフォロー戦略ファンド (ロングコース) 愛称：トレフォロL (ロング・ショートコース) 愛称：トレフォロLS

運用報告書(全体版) 第3期

(決算日 2021年4月15日)

(作成対象期間 2020年4月16日～2021年4月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ロングコース	追加型投信／内外／株式
	ロング・ショートコース	追加型投信／内外／株式／ 特殊型 (ロング・ショート型)
信託期間	約10年間 (2018年4月24日～2028年4月14日)	
運用方針	ロングコース	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
	ロング・ショートコース	安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ロングコース	ロング戦略マザーファンドの受益証券
	ロング・ショートコース	イ. ロング戦略マザーファンドの受益証券 ロ. ショート戦略マザーファンドの受益証券
	ロング戦略マザーファンド	世界の株価指数先物取引ならびに米国国債および日本国債
	ショート戦略マザーファンド	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率 マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、AI(人工知能)を取り入れた計量モデルを活用することで、世界の株価指数先物のトレンドを捉えて取引対象を選定し、(ロングコース)買建てを行なうことで信託財産の成長をめざし、(ロング・ショートコース)買建ておよび売建てを行なうことで、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106338
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3352>
<3353>

ロングコース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World 指数（配当込み、 米ドルベース）		株式 先物比率	公社債 組入比率	純資産 総額
	（分配落）	税込み 分配金	期中 騰落率	（参考指数）	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末(2019年 4 月15日)	9,549	0	△ 4.5	10,447	4.5	100.6	61.8	777
2 期末(2020年 4 月15日)	8,801	0	△ 7.8	9,818	△ 6.0	100.2	53.8	519
3 期末(2021年 4 月15日)	11,367	0	29.2	14,593	48.6	99.5	46.5	481

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

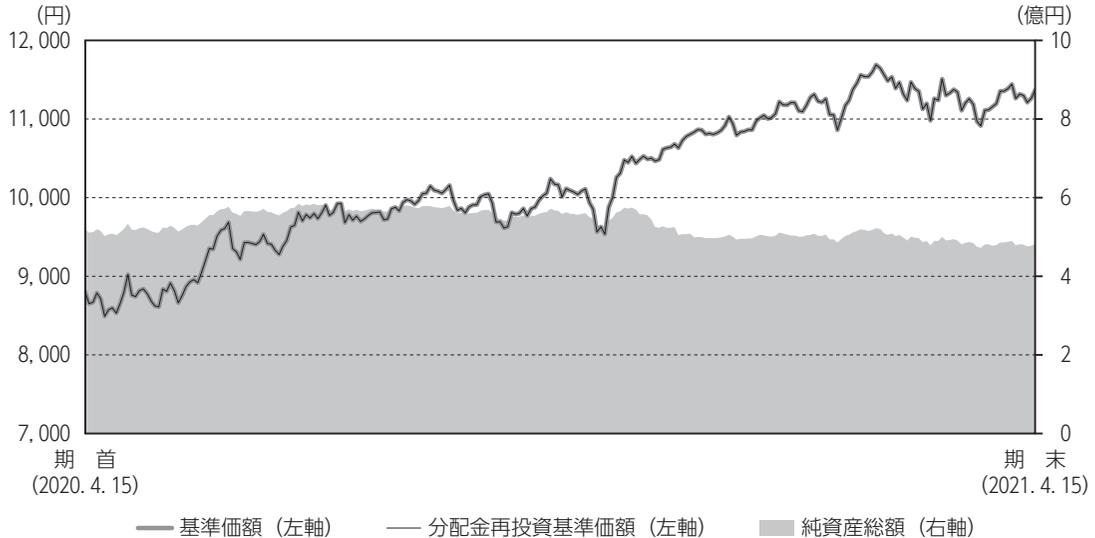
(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物比率を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：8,801円

期末：11,367円（分配金0円）

騰落率：29.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

世界の多くの株式市況が上昇したことを受けて、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界株式トレンドフォロー戦略ファンド（ロングコース）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース)		株 式 先物比率	公 社 債 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2020年 4月15日	8,801	—	9,818	—	100.2	53.8
4月末	8,796	△ 0.1	10,133	3.2	100.2	54.7
5月末	8,957	1.8	10,501	7.0	97.8	54.2
6月末	9,278	5.4	10,736	9.3	100.6	53.2
7月末	9,697	10.2	11,425	16.4	98.7	56.5
8月末	10,081	14.5	12,161	23.9	99.2	46.7
9月末	9,789	11.2	11,691	19.1	99.7	57.5
10月末	9,628	9.4	11,593	18.1	100.9	50.0
11月末	10,681	21.4	12,990	32.3	100.8	49.1
12月末	11,014	25.1	13,409	36.6	100.0	55.7
2021年 1月末	11,053	25.6	13,660	39.1	101.0	52.4
2月末	11,314	28.6	13,942	42.0	101.4	56.5
3月末	11,155	26.7	14,085	43.5	102.3	57.5
(期末)2021年 4月15日	11,367	29.2	14,593	48.6	99.5	46.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 4. 16 ~ 2021. 4. 15)

世界株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

当作成期首より2020年8月末にかけては、各国の大胆な景気刺激策や経済活動再開期待、新型コロナウイルス治療薬開発への期待などを好感し、各国の株式市況は上昇しました。特に米国やインド、ドイツといった国々の株式市況は大幅上昇となりました。その後9月に入ると、高値警戒感や欧州での感染再拡大による行動制限を嫌気したことなどから、米国ハイテック株や欧州を中心として各国の株式市況は下落基調へと転換しました。しかし11月以降は、米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前予想通りの当選確実となって選挙に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待から各国の株式市況は大幅に上昇しました。2021年1月末から3月上旬にかけては、経済活動正常化期待から全体的に堅調な展開になりました。また、これまで相場をけん引していたハイテックグロース株については、金利上昇に伴い相対的に軟調な展開となりました。当作成期末にかけては、欧州や米国株式市況は堅調に推移した一方で、新興国の株式市況はやや軟調な展開となりました。

国内短期金融市況

日銀のマイナス金利政策の影響により、短期の国債利回りはマイナスで推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」**当ファンド**

今後も、「ロング戦略マザーファンド」の組入比率が通常の状態でも高位となるように組み入れます。

ロング戦略マザーファンド

今後も、主として、独自の計量モデルを用いて、世界の株価指数先物の中から、上昇トレンドが相対的に強いと想定されるものを選定して買建てることにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、米国国債および日本国債に投資し、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行います。

ポートフォリオについて

(2020. 4. 16 ~ 2021. 4. 15)

当ファンド

「ロング戦略マザーファンド」の組入比率が高位となるように組み入れました。

ロング戦略マザーファンド

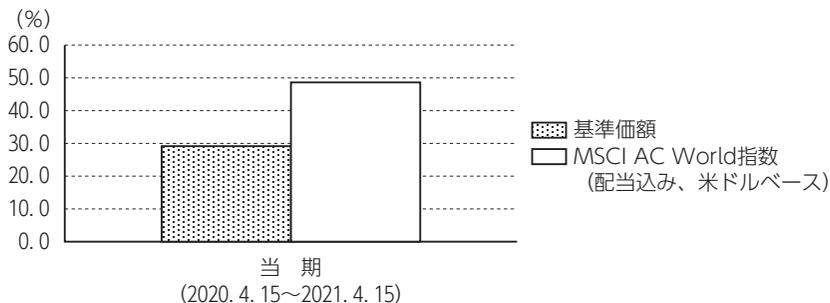
独自の計量モデルを用いて株価指数の値動きを推定し、上昇トレンドが相対的に強いと考えられる銘柄を選び、毎月月中に入れ替えると同時に日本国債を組み入れました。

また、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2020年4月16日 ～2021年4月15日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,542

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

今後も、「ロング戦略マザーファンド」の組入比率が通常の状態でも高位となるように組み入れます。

ロング戦略マザーファンド

今後も、主として、独自の計量モデルを用いて、世界の株価指数先物の中から、上昇トレンドが相対的に強いと想定されるものを選定して買建てることにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、米国国債および日本国債に投資し、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行います。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 4. 16～2021. 4. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	138円	1.353%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,231円です。
(投 信 会 社)	(68)	(0.660)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(68)	(0.660)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	21	0.201	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(21)	(0.201)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	16	0.155	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(15)	(0.150)	海外先物証拠金に対するマイナス利息、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	175	1.709	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

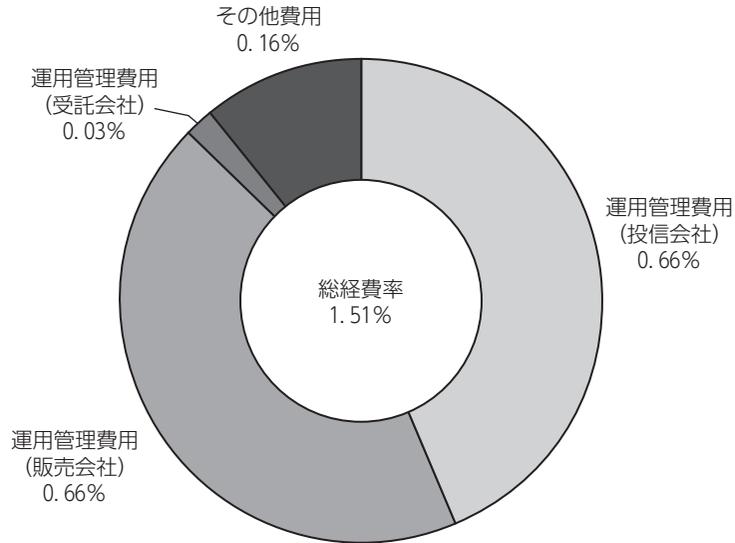
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

世界株式トレンドフォロー戦略ファンド（ロングコース）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ロング戦略 マザーファンド	27,963	29,870	193,384	214,140

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

決 算 期	当			期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	1,802	85	4.7	—	—	—
株式先物取引	21,880	—	—	20,285	—	—
為替予約	2,132	—	—	2,467	—	—
コール・ローン	79,136	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合40.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ロング戦略マザーファンド	565,688	400,267	481,241

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年4月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ロング戦略マザーファンド	481,241	99.0
コール・ローン等、その他	4,676	1.0
投資信託財産総額	485,918	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.91円、1カナダ・ドル=87.07円、1オーストラリア・ドル=84.30円、1香港・ドル=14.02円、1シンガポール・ドル=81.59円、1イギリス・ポンド=150.21円、1スイス・フラン=118.07円、1南アフリカ・ランド=7.58円、1ユーロ=130.56円です。

(注3) ロング戦略マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(647,226千円)の投資信託財産総額(2,906,205千円)に対する比率は、22.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年4月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	485,918,497円
コール・ローン等	4,236,891
ロング戦略マザーファンド(評価額)	481,241,606
未収入金	440,000
(B) 負債	3,974,406
未払解約金	513,540
未払信託報酬	3,446,939
その他未払費用	13,927
(C) 純資産総額(A-B)	481,944,091
元本	423,977,127
次期繰越損益金	57,966,964
(D) 受益権総口数	423,977,127口
1万口当り基準価額(C/D)	11,367円

*期首における元本額は590,654,666円、当作成期間中における追加設定元本額は47,822,154円、同解約元本額は214,499,693円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,367円です。

■損益の状況

当期 自 2020年4月16日 至 2021年4月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 141円
受取利息	59
支払利息	△ 200
(B) 有価証券売買損益	109,796,218
売買益	141,520,183
売買損	△ 31,723,965
(C) 信託報酬等	△ 7,235,175
(D) 当期損益金 (A + B + C)	102,560,902
(E) 前期繰越損益金	△ 37,154,332
(F) 追加信託差損益金	△ 7,439,606
(配当等相当額)	(△) 78
(売買損益相当額)	(△) 7,439,528
(G) 合計 (D + E + F)	57,966,964
次期繰越損益金 (G)	57,966,964
追加信託差損益金	△ 7,439,606
(配当等相当額)	(△) 78
(売買損益相当額)	(△) 7,439,528
分配準備積立金	65,406,711
繰越損益金	△ 141

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	65,406,711
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	65,406,711
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	65,406,711
(h) 受益権総口数	423,977,127口

ロング戦略マザーファンド

運用報告書 第3期 (決算日 2021年4月15日)

(作成対象期間 2020年4月16日～2021年4月15日)

ロング戦略マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	世界の株価指数先物取引ならびに米国国債および日本国債
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

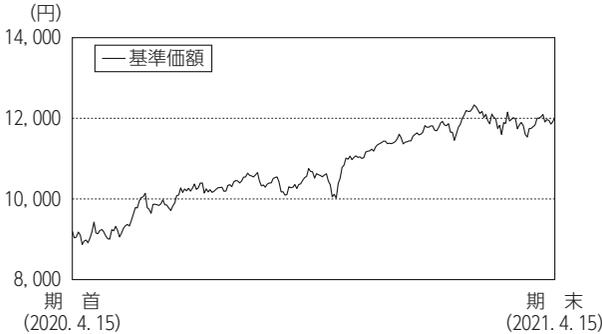
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移

《運用経過》



年 月 日	基準価額		MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース)		株式先物比率	公社債組入比率
	円	騰落率 (%)	(参考指数)	騰落率 (%)		
(期首) 2020年 4月15日	9,191	—	9,818	—	100.1	53.8
4月末	9,191	0.0	10,133	3.2	100.3	54.7
5月末	9,369	1.9	10,501	7.0	97.7	54.2
6月末	9,714	5.7	10,736	9.3	100.5	53.2
7月末	10,160	10.5	11,425	16.4	98.5	56.4
8月末	10,573	15.0	12,161	23.9	98.9	46.5
9月末	10,279	11.8	11,691	19.1	99.2	57.2
10月末	10,117	10.1	11,593	18.1	99.9	49.5
11月末	11,235	22.2	12,990	32.3	100.8	49.1
12月末	11,599	26.2	13,409	36.6	99.9	55.6
2021年 1月末	11,654	26.8	13,660	39.1	100.8	52.2
2月末	11,942	29.9	13,942	42.0	101.1	56.3
3月末	11,791	28.3	14,085	43.5	100.6	56.5
(期末) 2021年 4月15日	12,023	30.8	14,593	48.6	99.7	46.5

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
- (注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物比率を除きます。

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,191円 期末：12,023円 騰落率：30.8%

【基準価額の主な変動要因】

世界の多くの株式市況が上昇したことを受けて、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

当作成期首より2020年8月末にかけては、各国の大胆な景気刺激策や経済活動再開期待、新型コロナウイルス治療薬開発への期待などを好感し、各国の株式市況は上昇しました。特に米国やインド、ドイツといった国々の株式市況は大幅上昇となりました。その後9月に入ると、高値警戒感や欧州での感染再拡大による行動制限を嫌気したことなどから、米国ハイテク株や欧州を中心として各国の株式市況は下落基調へと転換しました。しかし11月以降は、米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前予想通りの当選確実となると選挙に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待から各国の株式市況は大幅に上昇しました。2021年1月末から3月上旬にかけては、経済活動正常化期待から全体的に堅調な展開になりました。また、これまで相場をけん引していたハイテックグロース株については、金利上昇に伴って相対的に軟調な展開となりました。当作成期末にかけては、欧州や米国株式市況は堅調に推移した一方で、新興国の株式市況はやや軟調な展開となりました。

○国内短期金融市況

日銀のマイナス金利政策の影響により、短期の国債利回りはマイナスで推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

今後も、主として、独自の計量モデルを用いて、世界の株価指数先物の中から、上昇トレンドが相対的に強いと想定されるものを選定して買建てることにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、米国国債および日本国債に投資し、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行います。

◆ポートフォリオについて

独自の計量モデルを用いて株価指数の値動きを推定し、上昇トレンドが相対的に強いと考えられる銘柄を選び、毎月月中に入れ替えると同時に日本国債を組み入れました。

また、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

今後も、主として、独自の計量モデルを用いて、世界の株価指数先物の中から、上昇トレンドが相対的に強いと想定されるものを選定して買建てることにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、米国国債および日本国債に投資し、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行います。

ロング戦略マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物・オプション)	22円 (22)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	15 (0)
(その他)	(15)
合 計	37

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国債証券	1,802,214	(940,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

銘 柄 別		買 建		売 建		当 期 末 評 価 額		
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額	買 建 額	売 建 額	評価損益
外 株	MSCI TAIWAN INDEX (シンガポール)	百万円 596	百万円 595	—	—	百万円 —	百万円 —	百万円 —
	S&P500 EMINI FUT (アメリカ)	658	646	—	—	—	—	—
	DJIA MINI E-CBOT (アメリカ)	296	307	—	—	—	—	—
	SGX NIFTY 50 (シンガポール)	2,227	2,494	—	—	—	—	—
	MSCI EMGMKT (アメリカ)	1,919	946	—	—	941	—	0
	NASDAQ 100 E-MINI (アメリカ)	590	681	—	—	—	—	—
	E-MINI RUSS 2000 (アメリカ)	944	—	—	—	941	—	△ 2
	NASD100 MICRO EMIN (アメリカ)	2,200	2,302	—	—	—	—	—
	SPI 200 FUTURES (オーストラリア)	952	1,291	—	—	—	—	—
	HANG SENG IDX FUT (香港)	896	909	—	—	—	—	—
国 式	HSCEI FUTURES (香港)	1,190	1,205	—	—	—	—	—
	MSCI SING IX ETS (シンガポール)	1,203	1,483	—	—	—	—	—
	SWISS MKT IX FUTR (スイス)	906	909	—	—	—	—	—
	FTSE/JSE TOP 40 (南アフリカ)	2,220	1,287	—	—	976	—	11
	CAC40 10 EURO FUT (フランス)	1,902	1,967	—	—	—	—	—
	IBEX 35 INDX FUTR (スペイン)	1,903	1,900	—	—	—	—	—
	FTSE/MIB IDX FUT (イタリア)	958	1,019	—	—	—	—	—
DAX MINI FUTURE (ドイツ)	312	337	—	—	—	—	—	

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
954 国庫短期証券 2021/5/25	212,077		
964 国庫短期証券 2021/4/12	212,050		
966 国庫短期証券 2022/1/20	200,243		
937 国庫短期証券 2021/9/21	188,219		
960 国庫短期証券 2021/12/20	188,208		
963 国庫短期証券 2021/7/12	188,095		
959 国庫短期証券 2021/6/16	188,081		
952 国庫短期証券 2021/11/22	85,096		
932 国庫短期証券 2021/2/25	85,055		
950 国庫短期証券 2021/5/10	85,043		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作 成 期 区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 1,334,000	千円 1,334,634	% 46.5	% —	% —	% —	% 46.5

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

区 分	当 期		末		償還年月日
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	
国債証券	950 国庫短期証券	—	千円 85,000	千円 85,006	2021/05/10
	954 国庫短期証券	—	212,000	212,024	2021/05/25
	959 国庫短期証券	—	188,000	188,033	2021/06/16
	963 国庫短期証券	—	188,000	188,047	2021/07/12
	937 国庫短期証券	—	188,000	188,113	2021/09/21
	952 国庫短期証券	—	85,000	85,063	2021/11/22
	960 国庫短期証券	—	188,000	188,151	2021/12/20
	966 国庫短期証券	—	200,000	200,195	2022/01/20
合 計	銘 柄 数 金 額	8銘柄	1,334,000	1,334,634	

(注) 単位未満は切捨て。

ロング戦略マザーファンド

■投資信託財産の構成

2021年4月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	1,334,634	45.9
コール・ローン等、その他	1,571,571	54.1
投資信託財産総額	2,906,205	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.91円、1カナダ・ドル=87.07円、1オーストラリア・ドル=84.30円、1香港・ドル=14.02円、1シンガポール・ドル=81.59円、1イギリス・ポンド=150.21円、1スイス・フラン=118.07円、1南アフリカ・ランド=7.58円、1ユーロ=130.56円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(647,226千円)の投資信託財産総額(2,906,205千円)に対する比率は、22.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年4月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,568,331,097円
コール・ローン等	916,929,774
公社債(評価額)	1,334,634,065
未収入金	678,762,623
差入委託証拠金	638,004,635
(B) 負債	699,424,060
未払金	698,814,060
未払解約金	610,000
(C) 純資産総額(A-B)	2,868,907,037
元本	2,386,189,909
次期繰越損益金	482,717,128
(D) 受益権総口数	2,386,189,909口
1万口当り基準価額(C/D)	12,023円

* 期首における元本額は957,221,069円、当作成期間中における追加設定元本額は1,895,312,109円、同解約元本額は466,343,269円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、世界株式トレンドフォローLS戦略(FOFs用/適格機関投資家専用)1,751,240,753円、世界株式トレンドフォロー戦略ファンド(ロングコース)400,267,493円、世界株式トレンドフォロー戦略ファンド(ロング・ショートコース)234,681,663円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,023円です。

■損益の状況

当期 自 2020年4月16日 至 2021年4月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,099,864円
受取利息	1,025,873
その他収益金	27,701
支払利息	△ 101,692
(B) 有価証券売買損益	△ 7,107,328
売買益	36,957,516
売買損	△ 44,064,844
(C) 先物取引等損益	300,827,232
取引益	486,777,927
取引損	△ 185,950,695
(D) その他費用	△ 1,817,332
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	290,802,708
(F) 前期繰越損益金	△ 77,414,240
(G) 解約差損益金	△ 50,170,731
(H) 追加信託差損益金	319,499,391
(I) 合計(E+F+G+H)	482,717,128
次期繰越損益金(I)	482,717,128

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ロング・ショートコース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式先物比率	公社債組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
1 期末(2019年 4 月15日)	9,782	0	△ 2.2	0.2	65.0	737
2 期末(2020年 4 月15日)	10,247	0	4.8	1.1	58.2	683
3 期末(2021年 4 月15日)	9,591	0	△ 6.4	0.9	47.2	555

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

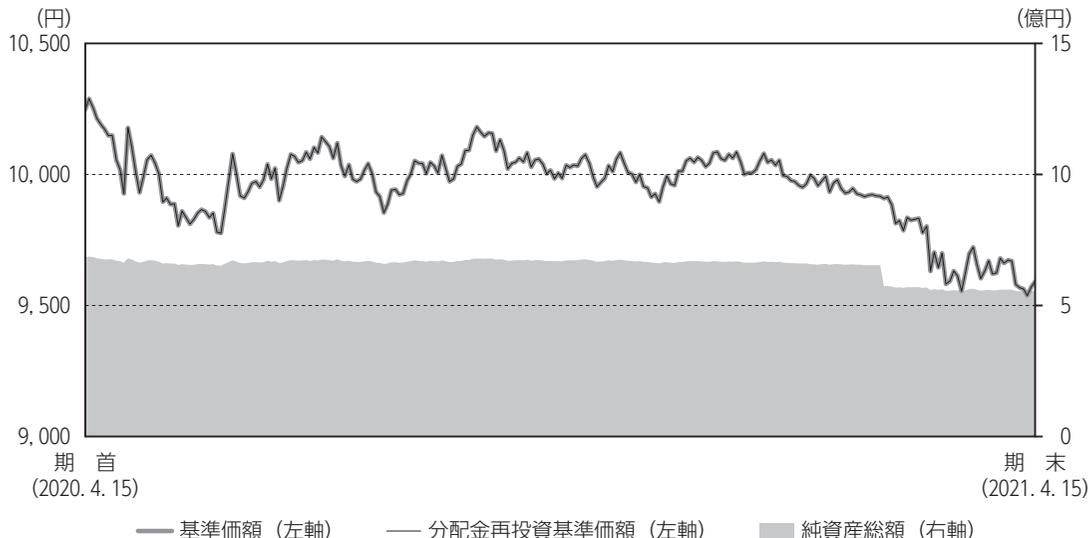
(注 4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物比率を除きます。

(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,247円

期末：9,591円（分配金0円）

騰落率：△6.4%（分配金込み）

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ロング戦略マザーファンド	30.8%	50.8%
ショート戦略マザーファンド	△32.6%	49.1%

■ 基準価額の主な変動要因

2020年4月にショート（売建て）側で保有していたラッセル2000ミニ先物が大幅に上昇したことや、2020年10月にロング（買建て）側で保有していた mini DAX 指数先物が下落したこと、11月にショート側で保有していた F T S E 台湾指数先物が上昇したことなどを受けて、当作成期の基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界株式トレンドフォロー戦略ファンド (ロング・ショートコース)

年 月 日	基 準 価 額		株 式 比 率 先 物 比 率	公 社 債 率 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %		
(期首)2020年4月15日	10,247	—	1.1	58.2
4月末	9,927	△ 3.1	△ 1.7	59.3
5月末	9,828	△ 4.1	1.7	59.3
6月末	9,901	△ 3.4	△ 0.2	57.8
7月末	9,982	△ 2.6	△ 0.4	58.9
8月末	10,006	△ 2.4	0.3	49.8
9月末	10,047	△ 2.0	△ 1.3	55.0
10月末	9,971	△ 2.7	△ 0.1	50.5
11月末	9,958	△ 2.8	0.5	51.8
12月末	10,051	△ 1.9	1.4	55.2
2021年1月末	9,968	△ 2.7	△ 0.2	52.0
2月末	9,786	△ 4.5	△ 0.9	58.1
3月末	9,621	△ 6.1	0.3	57.9
(期末)2021年4月15日	9,591	△ 6.4	0.9	47.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

■世界株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

当作成期首より2020年8月末にかけては、各国の大胆な景気刺激策や経済活動再開期待、新型コロナウイルス治療薬開発への期待などを好感し、各国の株式市況は上昇しました。特に米国やインド、ドイツといった国々の株式市況は大幅上昇となりました。その後9月に入ると、高値警戒感や欧州での感染再拡大による行動制限を嫌気したことなどから、米国ハイテク株や欧州を中心として各国の株式市況は下落基調へと転換しました。しかし11月以降は、米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前予想通りの当選確実となって選挙に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待から各国の株式市況は大幅に上昇しました。2021年1月末から3月上旬にかけては、経済活動正常化期待から全体的に堅調な展開になりました。また、これまで相場をけん引していたハイテクグロース株については、金利上昇に伴い相対的に軟調な展開となりました。当作成期末にかけては、欧州や米国株式市況は堅調に推移した一方で、新興国の株式市況はやや軟調な展開となりました。

■国内短期金融市況

日銀のマイナス金利政策の影響により、短期の国債利回りはマイナスで推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、「ロング戦略マザーファンド」および「ショート戦略マザーファンド」の組入比率を均等とすることを目標とします。

■ロング戦略マザーファンド

今後も、主として、独自の計量モデルを用いて、世界の株価指数先物の中から、上昇トレンドが相対的に強いと想定されるものを選定して買建てることにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、米国国債および日本国債に投資し、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行います。

■ショート戦略マザーファンド

今後も、主として、独自の計量モデルを用いて、世界の株価指数先物の中から、上昇トレンドが相対的に弱いと想定されるものを選定して売建てることにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、米国国債および日本国債に投資し、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行います。

ポートフォリオについて

(2020. 4. 16 ~ 2021. 4. 15)

■当ファンド

「ロング戦略マザーファンド」および「ショート戦略マザーファンド」の組入比率がおおむね均等となるように組み入れました。

■ロング戦略マザーファンド

独自の計量モデルを用いて株価指数の値動きを推定し、上昇トレンドが相対的に強いと考えられる銘柄を選び、毎月月中に入れ替えると同時に日本国債を組み入れました。

また、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行いました。

■ショート戦略マザーファンド

独自の計量モデルを用いて株価指数の値動きを推定し、下降トレンドが相対的に強いと考えられる銘柄を選び、毎月月中に入れ替えると同時に日本国債を組み入れました。

また、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年4月16日 ～2021年4月15日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	256

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、「ロング戦略マザーファンド」および「ショート戦略マザーファンド」の組入比率を均等とすることを目標とします。

■ロング戦略マザーファンド

今後も、主として、独自の計量モデルを用いて、世界の株価指数先物の中から、上昇トレンドが相対的に強いと想定されるものを選定して買建てることにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、米国国債および日本国債に投資し、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行います。

■ショート戦略マザーファンド

今後も、主として、独自の計量モデルを用いて、世界の株価指数先物の中から、下降トレンドが相対的に強いと想定されるものを選定して売建てることにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、米国国債および日本国債に投資し、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行います。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 4. 16～2021. 4. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	135円	1.353%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,956円です。
(投 信 会 社)	(66)	(0.660)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(66)	(0.660)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	21	0.214	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(21)	(0.214)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	12	0.118	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(11)	(0.112)	海外先物証拠金に対するマイナス利息、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	168	1.685	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

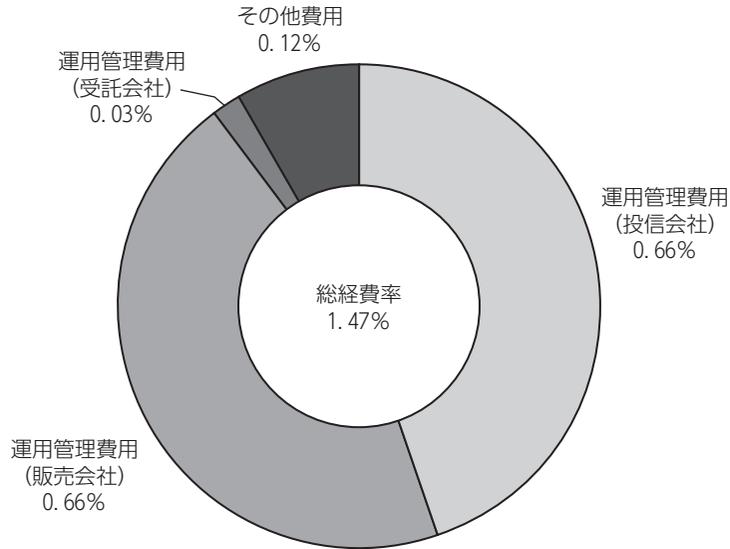
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.47%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

世界株式トレンドフォロー戦略ファンド（ロング・ショートコース）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ロング戦略 マザーファンド	46,548	46,669	203,399	217,695
ショート戦略 マザーファンド	172,770	161,970	98,824	86,434

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ロング戦略マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
百万円						
公社債	1,802	85	4.7	—	—	—
株式先物取引	21,880	—	—	20,285	—	—
為替予約	2,132	—	—	2,467	—	—
コール・ローン	79,136	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合25.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) ショート戦略マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
百万円						
公社債	1,390	31	2.2	—	—	—
株式先物取引	13,959	—	—	15,547	—	—
為替予約	1,439	—	—	1,127	—	—
コール・ローン	55,319	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合36.1%

(4) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取引の理由
百万円 480	百万円 —	百万円 80	百万円 400	当初設定時における取得とその処分

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ロング戦略マザーファンド	391,532	234,681	282,157			
ショート戦略マザーファンド	289,548	363,493	273,129			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年4月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ロング戦略マザーファンド	282,157	50.4
ショート戦略マザーファンド	273,129	48.7
コール・ローン等、その他	5,008	0.9
投資信託財産総額	560,295	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.91円、1カナダ・ドル=87.07円、1オーストラリア・ドル=84.30円、1香港・ドル=14.02円、1シンガポール・ドル=81.59円、1イギリス・ポンド=150.21円、1スイス・フラン=118.07円、1南アフリカ・ランド=7.58円、1ユーロ=130.56円です。

(注3) ロング戦略マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(647,226千円)の投資信託財産総額(2,906,205千円)に対する比率は、22.3%です。
ショート戦略マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(340,184千円)の投資信託財産総額(2,379,983千円)に対する比率は、14.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年4月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	560,295,737円
コール・ローン等	4,838,814
ロング戦略マザーファンド(評価額)	282,157,763
ショート戦略マザーファンド(評価額)	273,129,160
未収入金	170,000
(B) 負債	4,471,282
未払解約金	182,195
未払信託報酬	4,271,826
その他未払費用	17,261
(C) 純資産総額(A-B)	555,824,455
元本	579,514,422
次期繰越損益金	△ 23,689,967
(D) 受益権総口数	579,514,422口
1万口当り基準価額(C/D)	9,591円

*期首における元本額は667,325,019円、当作成期間中における追加設定元本額は27,034,835円、同解約元本額は114,845,432円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,591円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は23,689,967円です。

■損益の状況

当期 自 2020年4月16日 至 2021年4月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 377円
受取利息	44
支払利息	△ 421
(B) 有価証券売買損益	△ 28,578,636
売買益	97,041,799
売買損	△ 125,620,435
(C) 信託報酬等	△ 8,848,441
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 37,427,454
(E) 前期繰越損益金	14,253,581
(F) 追加信託差損益金	△ 516,094
(配当等相当額)	(597,547)
(売買損益相当額)	(△ 1,113,641)
(G) 合計(D+E+F)	△ 23,689,967
次期繰越損益金(G)	△ 23,689,967
追加信託差損益金	△ 516,094
(配当等相当額)	(597,547)
(売買損益相当額)	(△ 1,113,641)
分配準備積立金	14,253,989
繰越損益金	△ 37,427,862

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	597,547
(d) 分配準備積立金	14,253,989
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	14,851,536
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	14,851,536
(h) 受益権総口数	579,514,422口

★「ロング戦略マザーファンド」の第3期にかかる運用状況は11～15ページをご参照ください。

ショート戦略マザーファンド

運用報告書 第3期 (決算日 2021年4月15日)

(作成対象期間 2020年4月16日～2021年4月15日)

ショート戦略マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

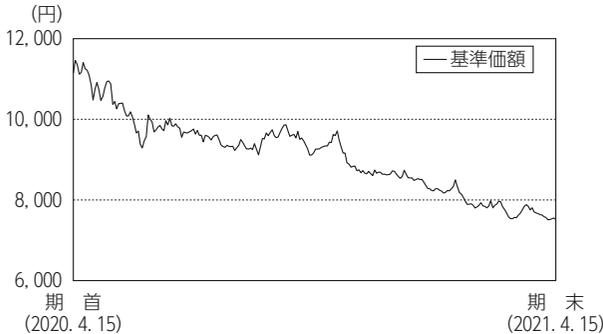
運用方針	株式市場の下落局面における収益の獲得をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	世界の株価指数先物取引ならびに米国国債および日本国債
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		株 式 先物比率	公 社 債 組入比率
	円	騰落率 %		
(期首)2020年 4月15日	11,152	—	△ 109.4	63.3
4 月末	10,477	△ 6.1	△ 112.7	64.3
5 月末	10,084	△ 9.6	△ 102.4	64.9
6 月末	9,837	△ 11.8	△ 103.1	62.3
7 月末	9,568	△ 14.2	△ 99.2	61.0
8 月末	9,248	△ 17.1	△ 99.3	52.8
9 月末	9,606	△ 13.9	△ 102.1	52.3
10 月末	9,595	△ 14.0	△ 95.3	51.5
11 月末	8,605	△ 22.8	△ 105.8	54.7
12 月末	8,505	△ 23.7	△ 98.4	54.6
2021年 1 月末	8,336	△ 25.3	△ 98.5	51.6
2 月末	7,848	△ 29.6	△ 102.5	59.4
3 月末	7,704	△ 30.9	△ 100.2	58.6
(期末)2021年 4月15日	7,514	△ 32.6	△ 101.1	47.9

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
 (注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物比率を除きます。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,152円 期末：7,514円 騰落率：△32.6%

【基準価額の主な変動要因】

世界の多くの株式市況が上昇したことを受けて、当作成期の基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

当作成期首より2020年8月末にかけては、各国の大胆な景気刺激策や経済活動再開期待、新型コロナウイルス治療薬開発への期待などを好感し、各国の株式市況は上昇しました。特に米国やインド、ドイツといった国々の株式市況は大幅上昇となりました。その後9月に入ると、高値警戒感や欧州での感染再拡大による行動制限を嫌気したことなどから、米国ハイテク株や欧州を中心として各国の株式市況は下落基調へと転換しました。しかし11月以降は、米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前予想通りの当選確実となって選挙に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待から各国の株式市況は大幅に上昇しました。2021年1月末から3月上旬にかけては、経済活動正常化期待から全体的に堅調な展開になりました。また、これまで相場をけん引していたハイテクグロース株については、金利上昇に伴い相対的に軟調な展開となりました。当作成期末にかけては、欧州や米国株式市況は堅調に推移した一方で、新興国の株式市況はやや軟調な展開となりました。

○国内短期金融市況

日銀のマイナス金利政策の影響により、短期の国債利回りはマイナスで推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

今後も、主として、独自の計量モデルを用いて、世界の株価指数先物の中から、上昇トレンドが相対的に弱いと想定されるものを選定して売建てることにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、米国国債および日本国債に投資し、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行います。

◆ポートフォリオについて

独自の計量モデルを用いて株価指数の値動きを推定し、下降トレンドが相対的に強いと考えられる銘柄を選び、毎月月中に入れ替えると同時に日本国債を組み入れました。

また、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

今後も、主として、独自の計量モデルを用いて、世界の株価指数先物の中から、下降トレンドが相対的に強いと想定されるものを選定して売建てることにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、米国国債および日本国債に投資し、為替変動リスクを抑えるため、外貨建資産については為替ヘッジを行います。

ショート戦略マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (先物・オプション)	18円 (18)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	6 (0) (6)
合計	24

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	1,390,908	(483,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は四捨五入。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

銘柄別		買建		売建		当期末評価額		
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
外株	MSCI TAIWAN INDEX (シンガポール)	—	—	335	339	—	—	—
	FTSE TAIWAN INDEX (シンガポール)	—	—	3,303	2,626	—	773	△13
	SGX NIFTY 50 (シンガポール)	—	—	230	235	—	—	—
	MSCI EMGMKT (アメリカ)	—	—	112	118	—	—	—
	NASDAQ 100 E-MINI (アメリカ)	—	—	—	117	—	—	—
	NIKKEI 225 (CME) (アメリカ)	—	—	220	217	—	—	—
	E-MINI RUSS 2000 (アメリカ)	—	—	1,752	1,982	—	—	—
	SP500 MIC EMIN FUT (アメリカ)	—	—	112	119	—	—	—
	NASD100 MICRO EMIN (アメリカ)	—	—	252	242	—	—	—
	DJIA MICR MIN CBOT (アメリカ)	—	—	236	233	—	—	—
	S&P/TSX 60 IX FUT (カナダ)	—	—	266	268	—	—	—
	SPI 200 FUTURES (オーストラリア)	—	—	222	220	—	—	—
国式	HSCEI FUTURES (香港)	—	—	222	228	—	—	—
	MINI HSI IDX FUT (香港)	—	—	222	219	—	—	—
	FTSE 100 IDX FUT (イギリス)	—	—	877	124	—	787	△23
	SWISS MKT IX FUTR (スイス)	—	—	1,560	892	—	783	△5
	FTSE/JSE TOP 40 (南アフリカ)	—	—	122	127	—	—	—
	CAC40 10 EURO FUT (フランス)	—	—	1,532	1,576	—	—	—
	IBEX 35 INDX FUTR (スペイン)	—	—	2,583	2,674	—	—	—
	AMSTERDAM IDX FUT (オランダ)	—	—	219	224	—	—	—
	DAX MINI FUTURE (ドイツ)	—	—	895	902	—	—	—
	MINI FTSE/MIB FUT (イタリア)	—	—	265	266	—	—	—

(注) 単位未満は四捨五入。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2020年4月16日から2021年4月15日まで)

当 期		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
959 国庫短期証券 2021/6/16	223,098		
964 国庫短期証券 2021/4/12	223,049		
966 国庫短期証券 2022/1/20	200,243		
954 国庫短期証券 2021/5/25	200,073		
960 国庫短期証券 2021/12/20	143,158		
937 国庫短期証券 2021/9/21	143,141		
963 国庫短期証券 2021/7/12	143,072		
950 国庫短期証券 2021/5/10	31,015		
944 国庫短期証券 2021/1/25	31,007		
952 国庫短期証券 2021/11/22	28,031		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作 成 期	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちB格 以下組入 比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
区 分	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	1,111,000	1,111,513	47.9	—	—	—	47.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

区 分	当 期		末		
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	950 国庫短期証券	—	31,000	31,002	2021/05/10
	954 国庫短期証券	—	200,000	200,023	2021/05/25
	959 国庫短期証券	—	223,000	223,040	2021/06/16
	963 国庫短期証券	—	143,000	143,035	2021/07/12
	937 国庫短期証券	—	143,000	143,080	2021/09/21
	952 国庫短期証券	—	28,000	28,020	2021/11/22
	960 国庫短期証券	—	143,000	143,115	2021/12/20
	966 国庫短期証券	—	200,000	200,195	2022/01/20
合 計	銘 柄 数 金 額	8銘柄	1,111,000	1,111,513	

(注) 単位未満は切捨て。

ショート戦略マザーファンド

■投資信託財産の構成

2021年4月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,111,513	46.7
コール・ローン等、その他	1,268,470	53.3
投資信託財産総額	2,379,983	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.91円、1カナダ・ドル＝87.07円、1オーストラリア・ドル＝84.30円、1香港・ドル＝14.02円、1シンガポール・ドル＝81.59円、1イギリス・ポンド＝150.21円、1スイス・フラン＝118.07円、1南アフリカ・ランド＝7.58円、1ユーロ＝130.56円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(340,184千円)の投資信託財産総額(2,379,983千円)に対する比率は、14.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年4月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,741,935,269円
コール・ローン等	883,120,033
公社債(評価額)	1,111,513,109
未収入金	364,433,358
差入委託証拠金	382,868,769
(B) 負債	422,821,211
未払金	422,821,211
(C) 純資産総額(A-B)	2,319,114,058
元本	3,086,323,969
次期繰越損益金	△ 767,209,911
(D) 受益権総口数	3,086,323,969口
1万口当り基準価額(C/D)	7,514円

* 期首における元本額は289,548,145円、当作成期間中における追加設定元本額は2,895,600,694円、同解約元本額は98,824,870円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、世界株式トレンドフォローLS戦略(FOFs用/適格機関投資家専用)2,722,830,277円、世界株式トレンドフォロー戦略ファンド(ロング・ショートコース)363,493,692円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は7,514円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は767,209,911円です。

■損益の状況

当期 自 2020年4月16日 至 2021年4月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 688,614円
受取利息	△ 638,184
その他収益金	9,194
支払利息	△ 59,624
(B) 有価証券売買損益	6,556,654
売買益	26,832,060
売買損	△ 20,275,406
(C) 先物取引等損益	△ 322,540,388
取引益	109,237,110
取引損	△ 431,777,498
(D) その他費用	△ 575,732
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 317,248,080
(F) 前期繰越損益金	33,343,493
(G) 解約差損益金	12,390,870
(H) 追加信託差損益金	△ 495,696,194
(I) 合計(E+F+G+H)	△ 767,209,911
次期繰越損益金(I)	△ 767,209,911

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。